

君津中央病院企業団議会

平成23年6月定例会会議録

君津中央病院企業団企業長福山悦男は、平成23年6月8日をもって平成23年6月30日午後3時30分に木更津市桜井1010番地君津中央病院4階講堂に企業団議会を招集した。

1 出欠席議員は次のとおりである。

出席議員

1番 石井 勝、2番 白坂英義、3番 服部善郎 4番 岡部順一、5番 真板一郎
6番 武次治幸、7番 小林新一、8番 鈴木幹雄、9番 平野和夫、10番 田邊恒生
11番 神崎 寛、12番 山口幹雄

欠席議員

なし

2 職務のために議場に出席した職員は次のとおりである。

総務課主幹 長谷川 英範 総務課主幹 斉藤 雄一

3 説明のため出席したものは次のとおりである。

企業長 福山悦男、監査委員 福島隆光、病院長 鈴木紀彰、事務局長 松尾晴介
事務局次長 栗山美佐夫、事務局参事 吉堀正廣、総務課長 山寄博史、財務課長 内山輝雄
管財課長 高橋武一、医事課長 池田倫明、経営企画課長 齋藤久夫、副院長 柴 光年
学校長 須田純夫、分院長 田中治実、医務局長 氷見寿治、地域医療センター長 岡 陽一
看護局長 齊藤みち子、医療技術局長 土屋俊一

4 会議に付した事件は次のとおりである。

- ・議案第1号 君津中央病院企業団監査委員の選任について
(質疑、討論、採決)

(午後3時30分開会)

<議長>

皆さん、ご苦労さまでございます。

ただいまの出席議員数は12名でございます。定足数に達しておりますので、平成23年6月君津中央病院企業団議会定例会を開会いたします。

ここで福山企業長から招集のごあいさつをお願いいたします。

福山企業長。

<企業長>

それでは、定例会の開会に当たりまして一言ごあいさつ申し上げます。

議員の皆様にはご多忙中のところ、ご参集賜り、まことにありがとうございます。

このたびの東日本大震災で被災された皆さんに謹んでお見舞い申し上げます。

また、被災地の日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

さて、平成22年度の決算概要でございますが、実施してまいりました施策の効果や診療報酬プラス改定の影響もあり、平成21年度に引き続き黒字となることができました。

本院事業では、看護師養成事業を合わせまして5億6,300万円、分院事業では4,100万円、企業団全体では6億500万円の黒字でございます。

監査委員の審査に付し、9月の定例会において認定案のご審議を賜りたいと存じております。

種々ご理解・ご協力をいただいた議会や4市執行部の皆様に対しまして、改めて感謝を申し上げる次第でございます。

また、現在の経営状況でございますが、5月末において本分院合わせて1,900万円の黒字となっております。5月になり回復したものの、4月の業績は大きく落ち込みました。その要因の一つとして震災の余震あるいは計画停電の影響が外来、入院とも患者数の減少につながったものと考えているところでございます。6月以降は引き続き収益を確保し、黒字基調が続くよう、健全経営を目指してまいります。

さて、本定例会には、人事案件1件の議案を提案させていただいております。

よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます、招集のごあいさつといたします。

<議長>

次に、企業団議会議員の人事についてご報告いたします。

木更津市議会で新たに石井勝議員、白坂英義議員が選出されました。

ただいまの順で自席にて就任のごあいさつをお願いいたします。

石井議員。

<1番 石井 勝議員>

もう4期、今度5期ですけども、ずっと最初から「中央病院に行かせろよ」と言ったものですから、ここに居座っているんですけど、いいかげんでやめなきゃいけないのかと思っています。中央病院側の事務方が喜ぶんじゃないかと思うんで、もう少しあと1年やそこらは、ここにいさせてもらって、本当は議長になりたいものですから。議長になると、こちらへ来れないんですね。今回は中央病院に行かせてくれということで、来てます。事務方の方は迷惑でしょうけど、必ず将来、僕の言ったことが役に立つんじゃないかと思って言ってますので、よろしくお願いいたします。

<議長>

白坂議員。

<2番 白坂英義議員>

木更津市議会議員3期目の白坂英義です。

先ほど病院のほうの役割等お話がありました。この役割達成のために、微力ではありますが、精いっぱい取り組まさせていただきたいというふうに思います。皆様方のご指導、よろしくお願いいたします。

<議長>

次に、監査委員から、地方自治法第235条の2第1項の規定による例月出納検査の結果について報告がありました。お手元に印刷配付してございますので、ご了承願います。

本日の議事日程は、お手元に印刷配付してございます。その順序に従いまして会議を進めてさせていただきますので、ご了承願います。

日程第1 議席の指定

日程第1、議席の指定を行います。

議席は、議長において指定します。

石井勝議員の議席を1番、白坂英義議員の議席を2番と指定いたします。

日程第2 会期の決定

日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は本日1日としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認め、会期は本日1日と決しました。

日程第3 会議録署名議員の指名

日程第3、会議録署名議員の指名を行います。

企業団議会会議規則第93条の規定により、岡部順一議員並びに平野和夫議員を指名します。

日程第4 議案の上程

日程第4、議案の上程を行います。

本日、上程の議案は1件です。

朗読については省略しますので、ご承知願います。

上程されている議案について、提案理由の説明を求めます。

福山企業長。

<企業長>

それでは、本定例会に提出いたしました議案の提案理由につきまして、ご説明申し上げます。

議案第1号、現在欠員となっております監査委員の選任について、事業の経営管理に関し、識見を有する適任者として、前富津市の企画財政部長、中村芳雄氏を選任するために、議会の同意をいただこうとするものでございます。

よろしくご審議の上、ご承認賜りますよう、お願い申し上げます。

<議長>

提案理由の説明が終了いたしましたので、直ちに議案を取り上げたいと思います。

議案第1号 君津中央病院企業団監査委員の選任についてを議題といたします。

議案第1号に対する質疑を行います。

質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

質疑終局と認め、討論を省略し、採決したいと思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認め、採決いたします。

議案第1号を原案のとおり決することに賛成の方は挙手を願います。

(全 員 挙 手)

挙手全員であります。

議案第1号 君津中央病院企業団監査委員の選任については、原案のとおり可決されました。

以上で議案を議了いたしました。

ただいま企業長から発言を求められておりますので、これを許可いたします。

福山企業長。

<企業長>

それでは、定例会の閉会に当たりまして一言御礼のごあいさつを申し上げます。

本当にまたことしも大変暑い日々が続いております。また、公私共に大変お忙しいところを先生方にはお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。本日の定例会におきまして1議案でございますが、中村監査委員のご承認をいただきました。本当にありがとうございます。

おかげさまで病院の経営も、本当に先生方のご支援をいただきまして、まあまあというか、いい状況でここ数年続いております。本当に感謝申し上げます。

また、負担金に関しましても、企業団議会に先立って開催されました全員協議会で、先生方からいろいろご意見賜りました。常に私、考えないことはないんですけど、できることなら、うんと少なければいいなというふうに思っておるんですけども、いろいろ地域医療の崩壊とか、いろいろなことが大分このところ続いてまいりました。しかし、地域の皆さんに対して公的病院として、やるべきことをやらねばならないということで、何とか崩壊という状況にならないように、いい状況でここまでやってきたなと思っております。

本当に、きょう、先生方からいただいたご意見は大変勉強になりました。石井先生も将来ずっと、おれの言ったことは役に立つだろうとおっしゃいましたけども、将来じゃなくとも、今、大変役に立ちますけども、本当に、そういうことで口幅ったい話なんですけども、県のほうに伺いまして、健康福祉部の関係者からも、この地域で大変頑張っていただいて、ありがたい。千葉県各所でいろいろな問題が起きて、地域医療の崩壊という言葉で一言で言ってしまうと、何なんです、そういうことがずっと続いて苦労しているところも随分ございます。

先ほど、その影響といたしますか、泌尿器科の問題ですね。大変御指摘いただきましたけども、ずっと私の頭から離れないといたしますか、何とかですね、前の状況にならないか、常勤の先生が来ていただいて、入院の患者さんを診てもらえるというようにならないかと思って、いつももう非常に私、心を痛めていると言って、もう本音でございます。

しかし、いずれにしても、その問題も解決に向けて何とかしようと思って、これからもまた少し動き回ろうかと思っているところでございます。

おかげさまで病院経営のほうも大分落ちついてはいるんですが、これも一つは職員の努力あるいは皆様のご支援とかいろいろございますが、診療報酬の影響というのは非常に大きい。これは石井先生が先ほどもおっしゃったように、このぐらい黙っていてももうかるんじゃないかというようなふうにされたといえますか、まさにそういうことが非常に大きいんでして、来年の4月に診療報酬改正がまたござ

います。介護保険のほうの制度も同時改正ということで、大変問題が起きるんじゃないかなというふうに推測できます。

そういうことで、当院としましてはですね、診療報酬改正が今と同じか、今よりもっとよくなってくればありがたいと思っておりますけども、そういうことはともかくとしまして、今の病院のいい状況をやっぱり将来的に維持していかなきゃならないということも考えていかなきゃならないと思います。それにはやっぱりたくさんの先生方を初め看護師さん、その他職員の方々が長く、いい職場環境で長くいてくれるということでやっぱり非常に大事なことでして、今、研修医に関しましては、うちの病院は県下でも大変評判のいいのではもう屈指でございます。そういうことで、それがいいということではですね、続いてくれないと困るわけで、常にそういうことを心していかなければならないなど、こういうふうに考えております。

そういうことで、先ほど、看護学校の問題も出ました。やっぱり将来ですね、病院で看護師さんが不足して、あるいはこの地域で看護師さんが足りなくなるというのは非常に問題なわけでは、そういうことも何とかいい形にしなきゃいけない。

それから、きょうはお話に出ませんでしたけども、この地域でこれからさらに高齢化が進みます。そして、老健施設の問題が私、一つひっかかっていると思うんですが、特老の問題、特養ですかね、そういうことも関連していると思いますが、そういう問題を地域包括ケアとしますか、保健医療福祉の中で切れ目ない、そういう医療と介護というようなことで考えていくと、そういうことも一つ考えていかなければならないということで、将来を見てですね、今どうすべきかということを、まあ、いろいろございます。

そういうことで今後もですね、いろいろ4市の先生方を初めて、4市の行政の方々にもいろいろとご意見をいただいたり、あるいはご指導をいただいてですね、協力していただいて、バランスのいい形で4市の医療を進めていきたいなど、こういうふうに常日ごろ考えております。

負担金の問題はずっと今後も出るとは思いますが、ひとつ4市の皆様のご意見も十分聞いてですね、そして進めていきたいなど、こういうふうに考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<議長>

以上をもちまして、本定例会を閉議し、閉会します。

ご苦労さまでした。

(午後3時49分閉会)